



買い物客に商品説明をする中五島高の生徒（左）
＝新上五島町、カミティ

中五島高の模擬会社 早々に売り切れ続出

新上五島町宿ノ浦郷の
県立中五島高（川原智司
校長、58人）のビジネスキ
ャリアコース3年生14人
が運営する模擬会社「L
iNK」は1日から3日
間、町内5カ所で商品の
販売実習をした。

模擬会社は2020年
から毎年、3年生が取り
組んでいる。今年は6月
に設立した。ビジネス活
動の実行能力や地域活性
化を担う人材の育成が目
的。

販売実習でオリジナル商品

実習での販売品目は、
オリジナルデザインの特
シャツやボロシャツ、ト
ートバッグ、全国各地か
ら取り寄せた和洋菓子な
ど。3日、浦郷のショッ
ピングセンター「カミテ
イ」の特設店舗実習では、
開店前から客の行列がで
きた。地元名産のアゴ（ト
ビウオ）やイノシシをあ
しらったデザインの特シ
ャツ、ネコがサーフィン
するイラストをプリント
したトートバッグなど、
地元愛にあふれるオリジ
ナル商品は特に人気が高
く、早々に売り切れ続出。
鯛ノ浦郷の川崎広子さ
ん（74）は「孫が実習して
いるのに見に来た。地元
にちなんだTシャツを作
るなど貢献しようとして
いるのが伝わる」と感激
していた。

社長の藤本瑠奈さん
（17）は「早々の売り切れ
は想定外でうれしい。地元
のために今やれることを
みんなで最大限に頑張っ
ている」と力強く話した。
3日間で商品約160
0点を完売し、売上総額は
約108万円となった。

（平田有子）

薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」

新上五島街頭で
啓発や支援募金

上五島保健所地区薬物乱用防止指導員協議会（濱崎和久会長）は6日、新上五島町青方郷のエレナFC上五島店前で、大麻や覚醒剤など薬物乱用防止を訴える街頭キャンペーンをした。乱用防止に取り組む民間団体を支援する国連支援募金も呼びかけた。

「国際麻薬乱用撲滅デー」（6月26日）に合わせ毎年

実施。県上五島保健所などの関係団体と、同協議会が協力を呼びかけた町立中の



募金する買い物客ら（新上五島町、エレナFC上五島店（県五島振興局上五島保健所提供））

生徒らを含め計約30人が参加した。買い物客に、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」と記し、違法薬物を乱用した場合の症状や危険性を示したリーフレットやティッシュなどを配った。

濱崎会長は「管内での発生は少ない。今の健全な状態が続いてほしい」と語った。買い物に訪れていた七目郷の会社員、羽田利恵さん（49）はリーフレットなどを受け取り、「薬物乱用は恐ろしい。子どもたちにもしっかり伝え、守り育てていきたい」と話した。

（平田有子）